

レトロな町並みに変身

第13回赤岡冬の夏祭り「まちは火の車」

12月1・2日の両日、赤岡町横町商店街で恒例の「冬の夏祭り」が開催されました。

通りには、開催当初からのフリーマーケットや露店が建ち並び、名物「路上のコタツ」を囲んで食事などを楽しむ人たちの姿が見られました。

また、おもしろい語り口調の街頭紙芝居は、集まった子どもたちが通りをふさぐほどの人気ぶり。橋の上から流れてくる民族太鼓の音色など、まちは独特の雰囲気包まれ、たくさんの人でにぎわいました。



大事に育てた長寿みかん

市天然記念物「長寿みかん」収穫

12月6日(木)香我美町山北で樹齢約150年の「長寿みかん」の収穫が行われ、香我美町長寿みかん保存会のメンバーなど15人で約300Kgの果実を収穫しました。今年度は、老木に負担をかけないよう多めに摘果をしたため、収穫量は少ないながらも味は最高とのこと。野市町内の保育所や福祉施設などに贈られました。

長寿みかんを所有している佐野宣重さんは「毎年収穫できるのは保存会が手入れをしてくれるおかげ。大事にしてくれてうれしい」と感謝していました。



「食」を見直そう

香南市食育フォーラム2007



12月2日(日)夜須中央公民館で「香南市食育フォーラム2007」が開催されました。食育コーディネーター大村直己氏の講演「見直そう家族の食卓」では、「ごはんと一汁二菜」「地産地消・旬産旬消」「食べ物への感謝の気持ち」をポイントに食を見直し、食を通して子どもたちの自立心を育てようと呼びかけました。

また、パネルフォーラムでは「子どもたちの食を考える」をテーマに保護者、教員、栄養士、大学関係者がそれぞれの立場で活発な意見交換を行いました。

バスの運行見直しに向けて

市営バスに関する報告書提出



12月7日(金)「市営バス運行見直しに関する報告書」が、香南市営バス検討委員会(山本邦雄委員長)から市長に手渡されました。

この報告書は、昨年7月から利便性と経費削減を図ることを目的に、利用状況や市民からの要望などを考慮し、委員会で検討された内容をまとめたものです。市では、これをもとに最終調整をし、5月から新しいダイヤで運行する予定です。

新ダイヤは、決まり次第詳しくお知らせします。

夜須の昔に思いをはせて

香南市文化財めぐり

11月23日(金)さわやかな秋晴れのもと「香南市文化財めぐり-夜須町てくてくめぐり編-」が行われ、旧街道や夫婦岩、手結内港などを約30人が歩きました。

このイベントは市内の文化財に関心を持ってもらうために、昨年の香我美町に引き続き2回目の開催。市文化財保護審議委員に説明を受けながら夜須町内の史跡を巡り、「屁ひり坂」という名の坂道では「まっこと急やき、力むたんびに出たかもしれん」と由来を考えるなど、その昔に思いをはせる一日となりました。



こうなんの子ども集まれ!

第8回こうなんこどもフェスタ

12月1日(土)野市総合体育館駐車場で、「こうなん子どもフェスタ」が開催されました。このイベントは例年「のいち子どもフェスタ」として開催されていましたが、8回目の今年は「こうなん」にパワーアップ。

舞台は、野市中吹奏楽団の演奏で始まり、恒例の缶積みやぞうきんがけ競争、ぞうり飛ばし大会など、子どもたちは記録更新を目指して大奮闘。競技の合間の勇ましい和太鼓の演奏や剣道・少林寺拳法の演武に会場から大きな拍手がわき起こっていました。



環境をテーマに全クラスが発表

野市小環境教育研究発表会



11月22日(木)野市小で環境教育研究発表会が行われ、全クラスがそれぞれ取り組んできた研究成果を教室や中庭などで発表。また、分科会では各クラス担任による環境学習の具体的な内容が、県内外の教員へ報告され、その成果が話し合われました。

この日、約250人の参加者は児童の発表を熱心に見学し、担当職員の報告にも耳を傾けていました。教員たちは「子どもたちで考え実行する力がついている」と積極的な取り組みに感心していました。

作品は香我美町文化祭へ

岸本小皿鉢絵付け



11月30日(金)岸本小学校6年生を対象に、陶芸教室が行われました。この教室は、体験学習の一環として5年前から香我美陶芸クラブの協力で始まったもので、6年生は卒業記念にと皿鉢作りにチャレンジ。この日は、自分の皿などに色付けをした後、慎重に窯入れをしました。

子どもたちは、指導に当たったクラブ員の「世界に一つのお皿やき、大事に使ってね」との声に、焼き上がりを心待ちにしていました。